

研究課題番号	4MF-2201
研究課題名	沿岸海洋生態系の保全・再生における緩衝植生帯の役割の評価と活用技術の開拓：サンゴ礁の再建に向けた事例研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	宮島 利宏

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、気候変動影響による海洋環境への影響に注目が集まるなかで、緩衝植生帯に焦点を当てた包括的なサンゴ礁保全研究として、重要な知見を与えるものと期待できる。また、アオウミガメによる食害という課題を抱えつつも、目標どおりの成果をあげていると評価できる。さらに、海草やモズクが存在することで、昼間はpHを上昇させるが夜は下降させることなどが判明した。とはいえ、モデル研究に特化しているように見受けられ、現場に実装可能な対策を示すことができるのか、海草やモズクの存在によるpHへの変動がサンゴの成長（昼間と夜間の成長の違い）に及ぼす影響をどう評価するか、などの点について検討を行いながら、研究を進めていただきたい。

#### 2. 採点結果

評価ランク：A